

* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイル 景況調査



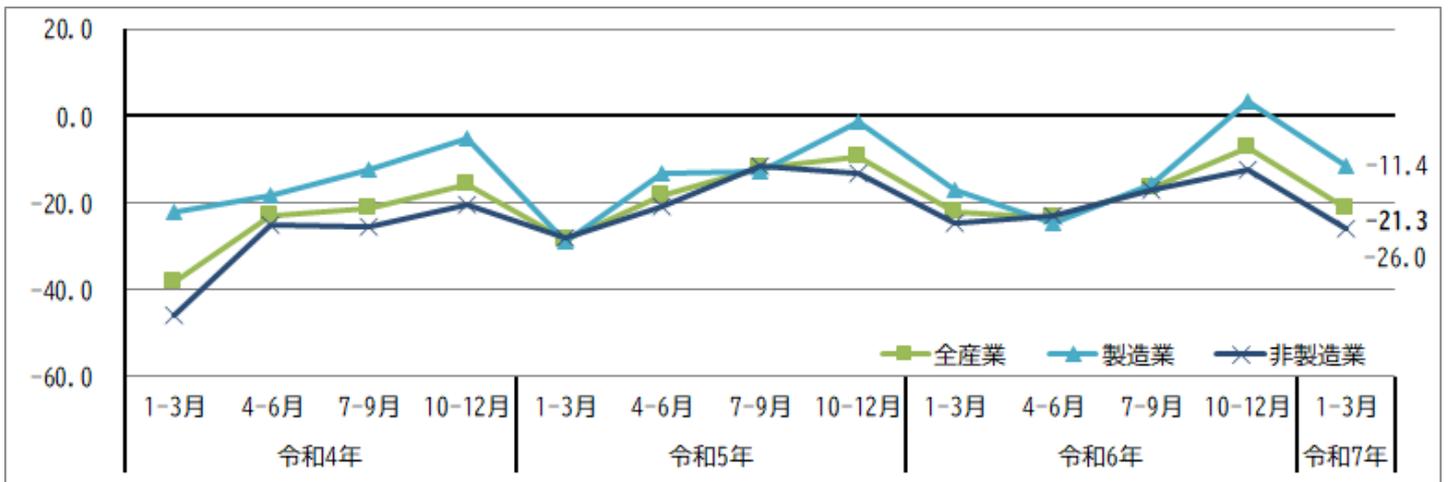
業況判断 DI は全産業で悪化。製造業、非製造業は悪化。

- ◆売上高：全産業、非製造業は悪化。製造業は大幅に悪化。
- ◆収益：全産業、製造業、非製造業のいずれも悪化。
- ◆従業員：全産業、製造業、非製造業のいずれも不足感が強まる。

◆業況判断（前期比）注（ ）内は前回調査との差を示します。

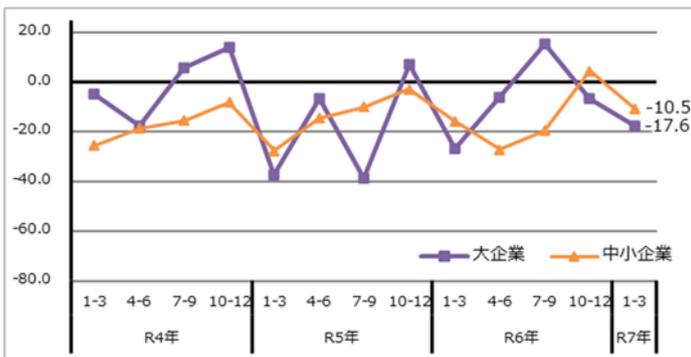
<全体>

業況判断 DI は、▲21.3（-14.0）で悪化しました。業種別では、【製造業】は▲11.4（-14.5）、非製造業は▲26.0（-13.7）と、いずれも悪化しました。



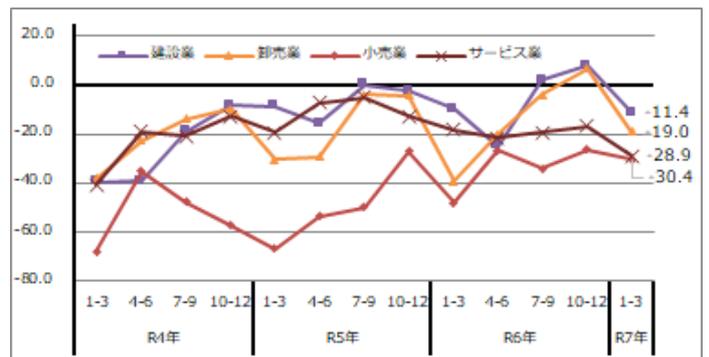
<製造業（規模別）>

【大企業】は▲17.6（-10.9）、【中小企業】は▲10.5（-15.0）と、いずれも悪化しました。



<非製造業（業種別）>

建設業は▲11.4（-19.1）、サービス業は▲28.9（-12.1）、小売業は▲30.4（-4.0）と悪化し、卸売業は▲19.0（-25.7）と大幅に悪化しました。



DI とは

景気動向指数「デフュージョン・インデックス（Diffusion Index）」の略。「好転」（または「上昇」「増加」「過剰」と回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を測るための指標です

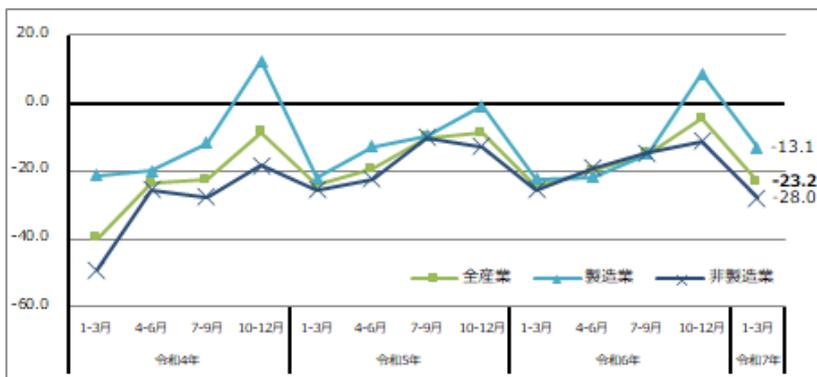
◆業界天気図



| 項目 | 業種 | 製造業 | | | 非製造業 | | | | |
|-----------|----|-----|----|-----|------|----|-----|-----|-----|
| | | 全産業 | 全体 | 大企業 | 中小企業 | 全体 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 |
| 今回業況判断DI値 | | | | | | | | | |
| 前回との差 | | | | | | | | | |

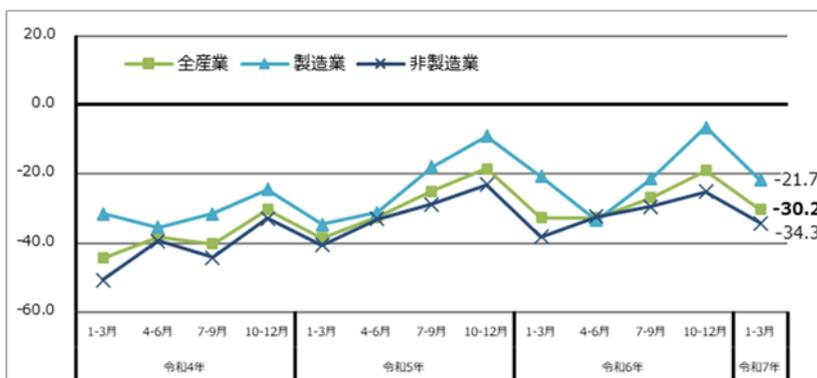
◆出荷額・売上高・完成工事高

- ・出荷額・売上高・完成工事高 DI は、▲23.2 (-18.7) で悪化しました。
- ・【製造業】は▲13.1 (-21.8) で大幅に悪化しました。【非製造業】は▲28.0 (-16.9) で悪化しました。



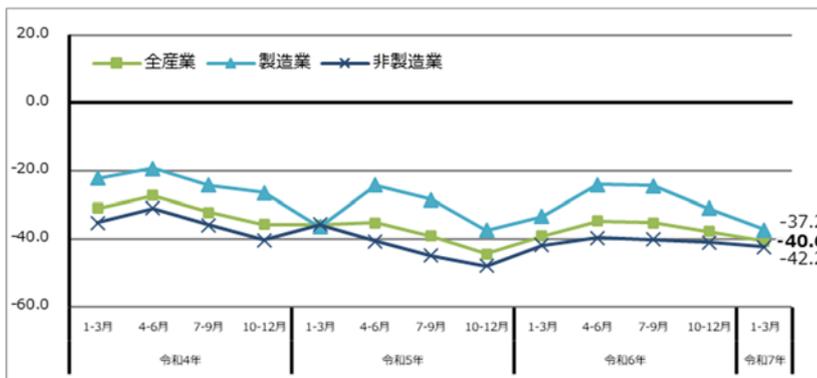
◆収益（前期比）

- ・収益（前期比）DI は、収益が前期より「好転」したか「悪化」したかを示すものです。
- ・全産業は▲30.2 (-11.2) で悪化しました。
- ・【製造業】は▲21.7 (-15.3)、【非製造業】は▲34.3 (-9.1) でいずれも悪化しました。



◆従業員過不足

- ・従業員の過不足 DI は、▲40.6 (-3.0) で低下し、不足感が強まりました。
- ・【製造業】は▲37.2 (-6.2)、【非製造業】は▲42.2 (-1.3) といずれも低下し、不足感が強まりました。



<本資料の問い合わせ先>

■ 尼崎市 経済環境局経済部 産業政策課

担当：宮崎・名井

連絡先：06-6489-6670

■ (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室

担当：仲山・重本

連絡先：06-6488-9501 (代)

<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>